

# Social

## 社会への取り組み



### 人材価値の向上のために

当社では、会社が持続的に成長し続けるために、人材価値の向上に取り組んでいます。

昨今の人材獲得競争の激化、AI（人工知能）・RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の台頭、グローバル人材の重要性という課題のなかで、長期的な視点で今の時代に合った人事制度を構築すべきという考えにより、2020年4月から新たな人事制度を導入しています。

その一環として、当社では2020年度にタレントマネジメントシステムを導入しました。これにより、一人ひとりの社員が持つ知識やスキル、価値観・キャリアビジョンが見える化され、適材適所の人材配置を実現しています。さらには、個人のキャリアプランやスキル経験に応じて上司や会社が人材育成に活用することで社員のモチベーションを高め、よりイキイキと活躍し成長できる職場環境を醸成していきます。

### 職場環境の向上のために

当社では、労働現場における災害の発生は、従業員の安全を脅かすとともに近隣環境や事業継続性にも影響を及ぼすおそれがあるため、安全な職場環境づくりが重要な経営課題であると認識しています。

この考えのもと、労働災害を未然に防止するため、危険予知活動の継続実施や社長が現地に赴く工場巡視などを実施しています。また各工場ごとに安全衛生ニュースを発行し、従業員の安全への意識を高めています。

そのほか、安全衛生委員による職場巡視を行い、職

場の危険度評価を行っています。これは危険の種類と発生頻度などを点数で表したもので、点数が高いほど危険度が高いことになります。危険度の高い職場から優先的に原因を分析し、効果的な危険源対策を実施することで、労働災害の未然防止や再発防止につなげています。

これらの制度や評価を通じ、今後も風通しの良い職場を作り、従業員一人ひとりがイキイキと働ける安心で安全な職場環境の構築を目指します。



### 働き方改革の推進

当社でも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、在宅勤務導入やテレビ会議によるお客様との打ち合わせなどIT化を進め、より効率的な働き方を推進しています。また、2020年から業務改革プロジェ

クトを開始し、現状業務の棚卸を行い、さまざまなIT技術を活用して業務をスリム化して生産性の向上を図り、時間を創出するなど、従業員のワークライフバランスの向上を進めています。

### ダイバーシティへの取り組み

今までにない新しい発想は多様な人材によって生み出されるという考えから、当社も近年ダイバーシティの推進に力を入れています。今まで以上に女性が活躍できる機会の創出や、外国人人材の積極登用による異

なる価値観から生まれる新たなアイデアを活かした新製品開発、障がい者の方にも活躍いただける社内体制の整備など、これからも多様性を尊重し、企業の持続的な成長を目指します。



### Column

#### 社長と意見を交わし、女性がさらに活躍できる職場環境を目指す

女性がさらに活躍できる機会の創出に向けた取り組みとして、「女性社員が考える働きやすい、働きがいのある職場環境とは」をテーマに、岩波社長と本社女性総合職8人による交流会を開催しました。

交流会では、キャリアプランの支援や、家庭と仕事を両立しやすくライフイベントにも合った制度設計などさまざまな提案があり、岩波社長と直接意見交換ができる有意義な場となりました。

今後も交流会を通じ経営層と課題を共有化することで、女性がイキイキと働ける制度・職場づくりに向けた取り組みを進めていきます。



岩波社長と交流会出席者

山中 友貴美  
管理本部 総務人事部

## 地域社会とともに

### 関西外国語大学主催「キャリア形成」講演会への参加

関西外国語大学では春学期に13回の授業として「キャリア形成」プログラムを開講しています。毎回さまざまな業界からゲストが参加し、業界や産業の仕組み、職業観・人生観・やりがいなどを学生が学ぶ機会を創出するという趣旨に賛同し、当社も2021年5月に講演会を行いました。講演会では、メーカーで英語を使ってグローバルに働いている当社の駐在員も参加し、海外で働くということについて学生の皆さんに現場の生の声を伝えました。

今後も当社はさまざまな大学と連携し、学生が社会に出てイキイキと活躍できるよう支援をしてまいります。

### 伝統文化・芸術への協賛

当社では、工場や事業所がある地域との交流を重要な活動と考えています。この考えのもと、本社がある大阪市の活性化を図るために、「山本能楽堂」及び「大阪フィルハーモニー交響楽団」への協賛を行っています。

このような協賛を通じ、伝統芸能の発展や文化振興の支援を行うとともに、今後は当社の拠点がある地域だけでなく、世界中の文化芸術の振興及び地域の活性化を支援してまいります。

### フードロス・プラスチックゴミ削減

当社の主力工場である三田工場及び福知山事業所には社員食堂が設置されており、ヘルシーメニューの提供など健康面からのサポートだけでなく、社内コミュニケーションの場としても活用されています。

2020年8月より福知山事業所では、社員食堂の利用者数やメニューの注文傾向をデータ化することで、フードロスの削減に取り組みました。過去の注文データから翌日の注文数を予測することで、作りすぎによるフードロスを半減することができました。今後は、更なるフードロス削減に取り組むとともに、三田工場への展開を推進してまいります。

また、当社では従来から食事の盛り付けを工夫することでバラ（食材同士を仕切るためのシート）やプラスチックカップの使用を廃止し、年間約40kgのプラスチックゴミの削減に取り組んでいます。



オンラインでの講演の様子



写真提供：山本能楽堂



写真提供：大阪フィルハーモニー交響楽団



フードロスを半減したメニュー例

### Column 気軽にできるボランティア活動として献血活動に励む

当社では、身近にできる社会貢献活動として、献血サポーターに登録し、献血ボランティア活動を年2回行っています。

以前よりボランティア活動には興味があったのですが、当社の場合、事業所に献血車両が来場することもあり、私でも気軽にできるボランティア活動だと感じ献血活動に参加しました。

私は、献血活動を通じて、改めて丈夫な身体に産んでくれた両親への感謝の気持ちや、誰かの役に立っているという嬉しさを実感するとともに、健康管理に気を付けるようになりました。

献血活動を始めて今年で28年。今年度中に通算300回を達成する予定です。

皆さんもぜひ、献血活動に参加してみてください。



中野学  
生産本部 工場管理部  
物流グループ

## お客様とともに

当社では、お客様からのご要望には事業発展のための重要なヒントが隠されていると認識し、お客様からのご要望を「お客様ご要望カード」にまとめています。これらのご要望は戦略会議や経営会議などで報告・議論され、製品の改良や新製品の開発に結び付いています。

また、お客様のご要望に応えるためには、営業部門と技術部門の連携が必要不可欠です。当社では、お客様への訪問の際には技術スタッフも同行し、技術的な視点も加えることで、ご要望についての「課題の本質」を把握し、最善の提案ができるように努めています。

2020年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴いお客様の訪問自粛を余儀なくされましたが、テレビ会議システムを導入するなど、お客様と従業員の安全と安心を確保しながら、お客様のご要望に

## お取引先様とともに

当社は、お取引先との公正かつ透明性のある取引を継続し、購買活動を遂行するために、調達基本方針を定めて公正な事業活動の実現に努めています。お取引先から安定した調達を行うために交流を深めて円滑な活動を行う施策の一環として調達方針説明会を開催し、各事業の取り組みや生産概況、将来の生産計画などの情報提供を行っています。2021年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が未だ強く残る状況のなか、安全性を最優先させ2年振りの取引先会社方針説明会をリモートで開催しました。お客様への供給責任と安定供給を第一に考え、今後もお取引先と相互に発展し、安定した事業継続の実現を目指します。

またESG関連投資やグローバル調達の拡大に鑑み、企業とステークホルダー双方の重要な課題であるサブ

## 反社会的勢力への対応

当社は、適切かつ健全な企業活動を展開するにあたり、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」に従って対応しています。そのため、お取引先に確認証を送るなど連携を取りながら、確固たる信念を持って断固とした姿勢で臨み、反社会的勢力との関係を遮断し、公共の信頼を維持・継続するべく努力しています。

応えてまいりました。

さらに、製品の品質確保がお客様からの信頼を獲得・維持するうえで最も優先すべき課題の一つであるとの認識のもと、ISO9001の品質マネジメントシステムを基盤とし、品質管理活動のPDCAサイクルを回すとともに、各国及び各業界から要求される品質・規格に対応してまいります。

このような当社の製品・サービスに対するお客様の評価については、年1回「お客様満足度調査」としてアンケートを実施しています。2020年度からは、本アンケートを電子化することで、お客様からの声を素早く吸い上げ、経営会議での議論や現場へのフィードバックを通じて、更なる顧客満足度向上に努めています。

ライチェーンマネジメントを取り巻く課題に対しても適切に対処していきます。特定紛争地域において非人道的行為により採取された鉱物資源が武装勢力などの活動資金となる紛争鉱物問題、特定人種迫害により生産された繊維原材料を利用した経済活動など、基本的人権侵害が社会問題となっていますが、当社はこれらをサプライチェーンにおける重大な問題と認識し、懸念のある鉱物や繊維原材料の採用回避にも努めます。サプライチェーンマネジメントに絡むこれら課題は、環境、人権、品質、取引慣行、災害時の対応など広範囲に及ぶため、リスクを適切に管理し対応するため調達基本方針、CSR調達基準をまとめたグループ調達方針「PILLAR CSR調達ガイドライン」を改訂し運用しています。

### 反社会的勢力に対する方針

- ①取引を含めた一切の関係を遮断
- ②組織としての対応と外部専門機関との連携
- ③裏取引や資金提供の禁止
- ④有事における法的対応